

体育会学生の就職活動状況調査(2019年3月)

2019年4月

3月1日に各企業の採用情報が解禁されましたが、体育会学生はどのような就職活動状況になっているのでしょうか。3月時点での「アスプラ2020」利用中の学生へ就職活動について、アンケート調査を行いました。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生

回答件数：199件

調査方法：インターネット調査

調査期間：2019年3月6日～13日

【TOPICS】

▼インターンシップの参加状況

3月時点でのインターンシップ参加率は約8割。参加社数が「5社以上」の学生は27.7%。

▼エントリー数・エントリーシートの提出数

3月時点で9割以上の体育会学生が1社以上エントリーしている結果に。

エントリーシートの提出数は「1～5社」が46.8%で留まる。

▼内定率について

3月時点での体育会学生の内定率は11.3%と2月時点より7.5ポイント増加

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460 (受付時間：9:00～18:00/土日祝日を除く)

Mail: athlete2020@asupura.com

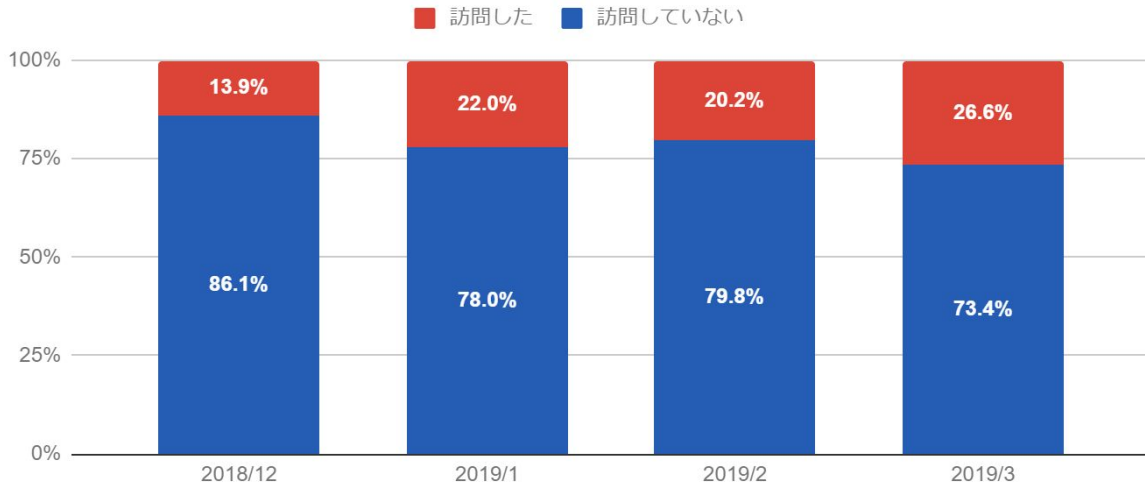
◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問をした学生は2019年3月度は26.6%と、就活情報解禁直前の2月から6.4ポイントの増加。過去3ヶ月と比較しても徐々に増加しています。（13.9%→22.0%→20.2%→26.6%）

また体育会学生からは「部活動の先輩や、部活動関係者から訪問先を紹介してもらおう」という声が多く上がっています。

OBOG訪問の状況

※他大学他部活を含む、これまでに会った累計人数



	'18/12	'19/1	'19/2	'19/3
0名(訪問するつもりはない)	13.9%	19.1%	28.4%	32.5%
0名(これから訪問したい)	68.3%	53.0%	47.3%	37.9%
0名(これから訪問する予定がある)	3.9%	5.9%	4.1%	3.0%
1名	5.7%	9.3%	6.2%	8.4%
2名	3.0%	4.2%	5.1%	4.4%
3名	0.9%	3.0%	2.7%	5.9%
4名	0.9%	1.3%	1.0%	3.4%
5名以上	3.5%	4.2%	5.1%	4.4%

◆インターンシップの参加状況

インターンシップの参加経験がある学生が2月時点（69.5%）より10.3ポイント増加し、3月時点では全体の約8割がインターンシップに参加しているという結果になりました。

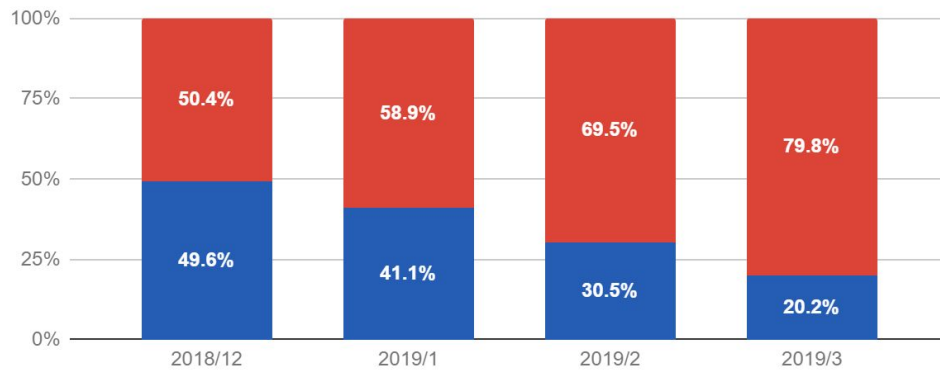
参加した学生が増えた事により、「1社」の回答数が18.2%と1.8ポイントの増加を含め、参加社数が全体的に増加しました。中でも「5社以上参加した」と回答する学生の割合が最も多くなりました（27.1%）。

これからは体育会学生も、就職活動を行う上でインターンシップへ参加する事は当たり前になっていくと推測されます。

インターンシップの参加状況

※これまでに参加したもの全て

■ 参加した ■ 参加していない



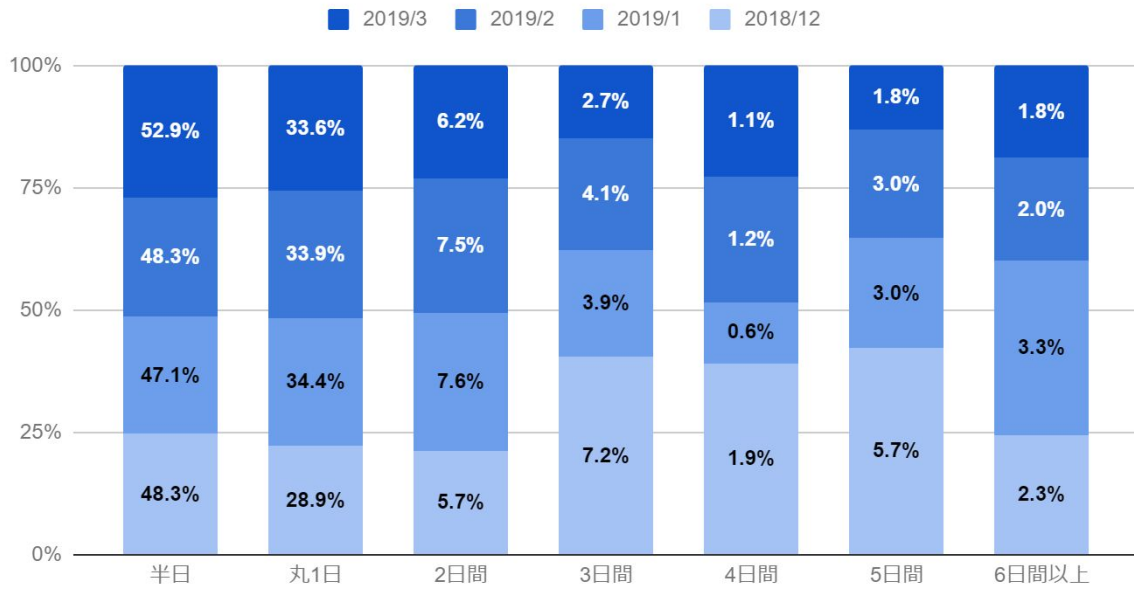
	'18/12	'19/1	'19/2	'19/3
0社(参加するつもりはない)	6.5%	7.6%	8.2%	12.3%
0社(これから参加したい)	29.6%	20.3%	13.0%	6.9%
0社(これから参加する予定がある)	13.5%	13.1%	9.2%	1.0%
1社	17.4%	19.5%	16.4%	18.2%
2社	11.7%	11.4%	13.0%	13.3%
3社	9.6%	10.6%	13.4%	11.8%
4社	3.5%	5.5%	6.2%	9.4%
5社以上	8.3%	11.9%	20.5%	27.1%

インターンシップの参加日程は「半日」「丸1日」が全体の約8割～9割近くを占めています。
 また「半日」「丸1日」に関しては12月から3月にかけてほぼ変化はありませんが、「3日間」以降の日数を要するスケジュールのインターンシップは2018年12月の参加が多く見受けられます。

体育会学生は部活動と就職活動、そして学業との両立を行うために、短期間のインターンシップへ参加するなど、自分のスケジュールに合わせた就活を判断し、実際に行っているのではないのでしょうか。

参加したインターンシップの日程

※これまでに参加したもの全て



◆就職活動状況

○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

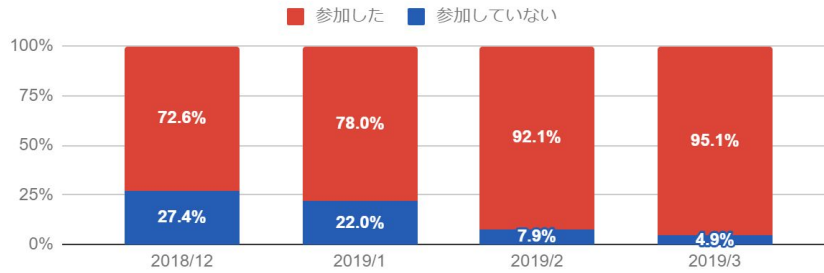
合同企業説明会の参加について前月調査に引き続き9割以上の学生が既に参加済となり、複数回参加する学生の割合も大きくなりました。

現在就職活動を行う大学生全体での合同企業説明会の参加回数が2.6回(※)だったことに比べ、今回のアンケートで体育会学生は「3回~5回」と全体の半数以上を占めました。合同企業説明会は1回参加することで複数の企業を見ることができるため、普段部活動との両立で忙しい体育会学生には企業を知るうえで有効な手段だと考えられます。しかし今後は説明会や選考が入ることから、大きな変化はないと推測されます。

(※) 『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果(2019年3月発行)』

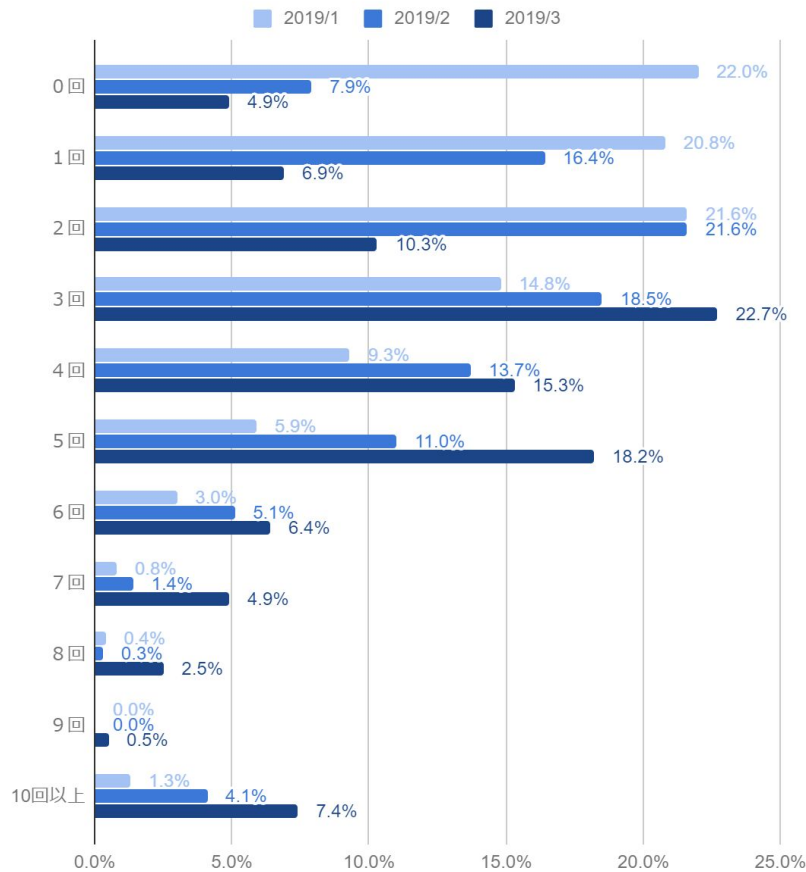
合同企業説明会の参加状況

※学内開催の合同企業説明会を除く、これまでに参加した累計



合同企業説明会の参加回数

※学内開催の合同説明会を除く、これまでに参加した累計

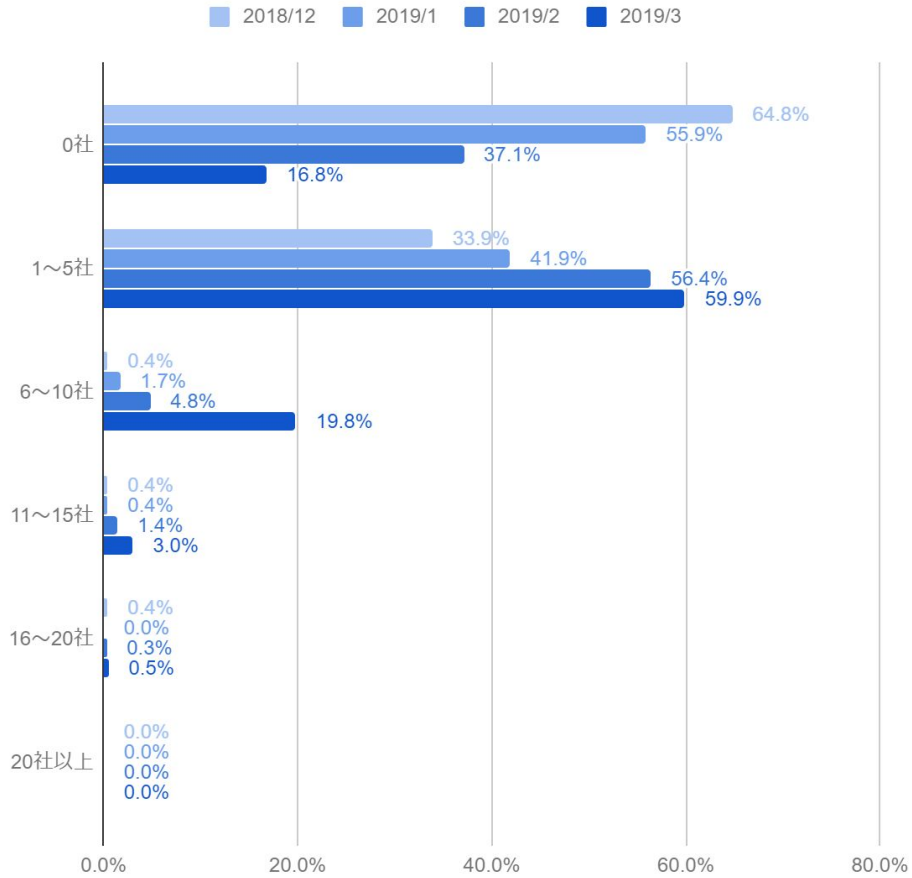


個社説明会の参加も合同企業説明会と同様、全体的に参加社数の増加が見られました。大きな変化としては「6～10社」と回答した学生が2月時点（4.8%）より15ポイントの増加（19.8%）、「0社」は20.3ポイントの大幅な減少となりました。

3月1日の情報解禁後、様々な情報サイトより個社説明会へ予約・参加し、本格的な就職活動を開始したように見受けられますが、今後もこの参加社数は増加していくと推測されます。

個社説明会の参加状況

※インターンシップの為の説明会やインターンシップを含まない、これまでに参加した累計



○エントリー数・エントリーシートの提出数

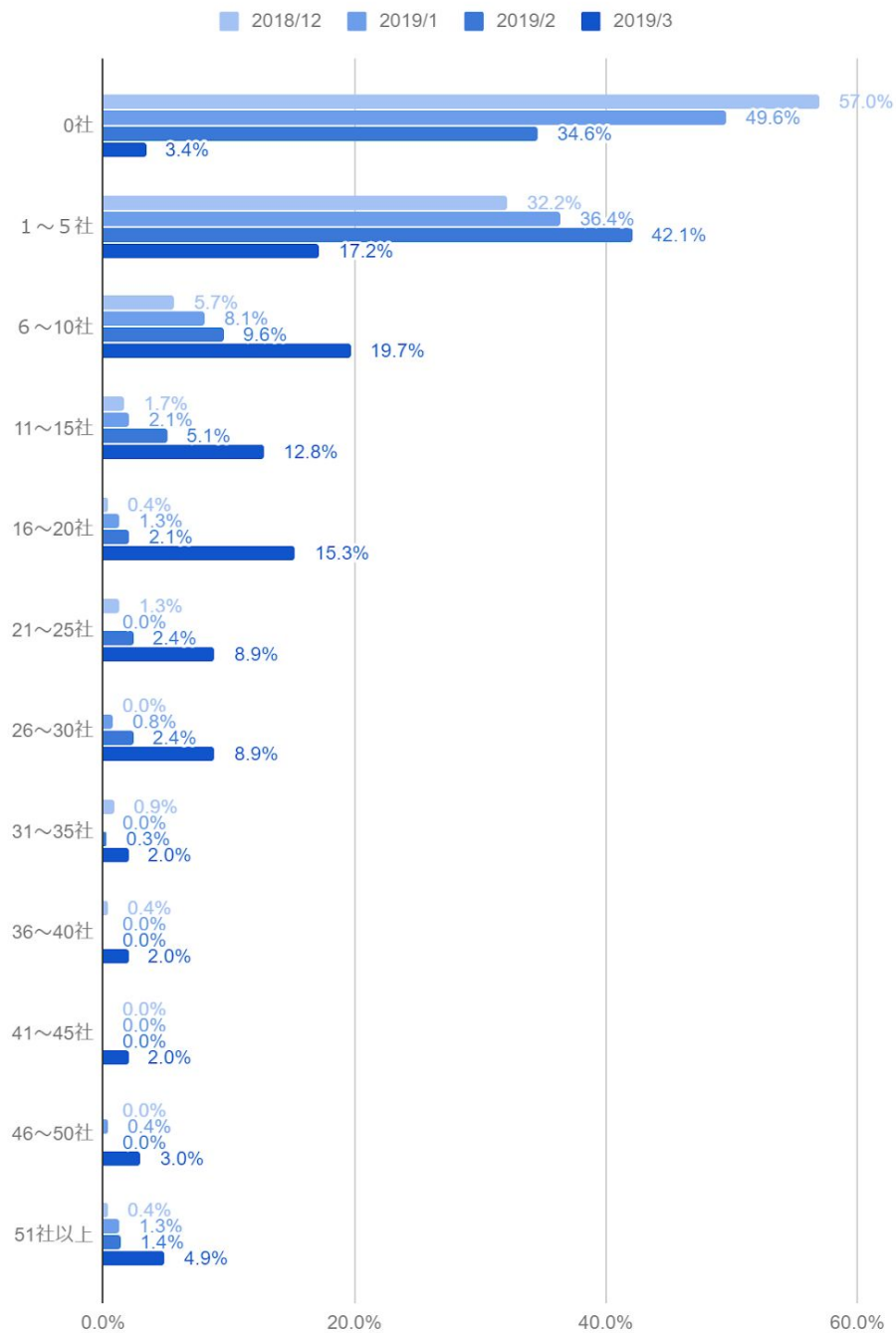
3月時点でのエントリー数は前回調査時と比べ、全体的に大きな変化が見られました。

まず「0社」が前回より31.2ポイントの大幅な減少となり、採用情報の解禁後、約9割の学生が就活に対しての意識を持ち、エントリーを行った事が分かります（34.6%→3.4%）。

また「1～5社」も2月時点の42.1%から24.9ポイントの減少。なお「6～10社」以降全ての回答数が増加となったことから、3月1日の就活情報解禁という区切りが体育会学生のなかでも大きな意識付けのタイミングとなった事が伺えます。

エントリー数

※インターンシップを含まない、これまでにエントリーした企業の累計

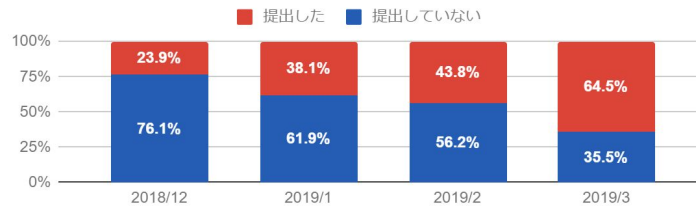


エントリーシートの提出数もエントリー数同様に大きく変化している様子が伺えます。提出した割合が2月時点（43.8%）から20.7ポイント増加し、初めて過半数を占めました。

また「6～10社」も前回調査時の3.8%から9.5ポイント増加の13.3%と、徐々にエントリーシートを提出し始めている事が分かりました。

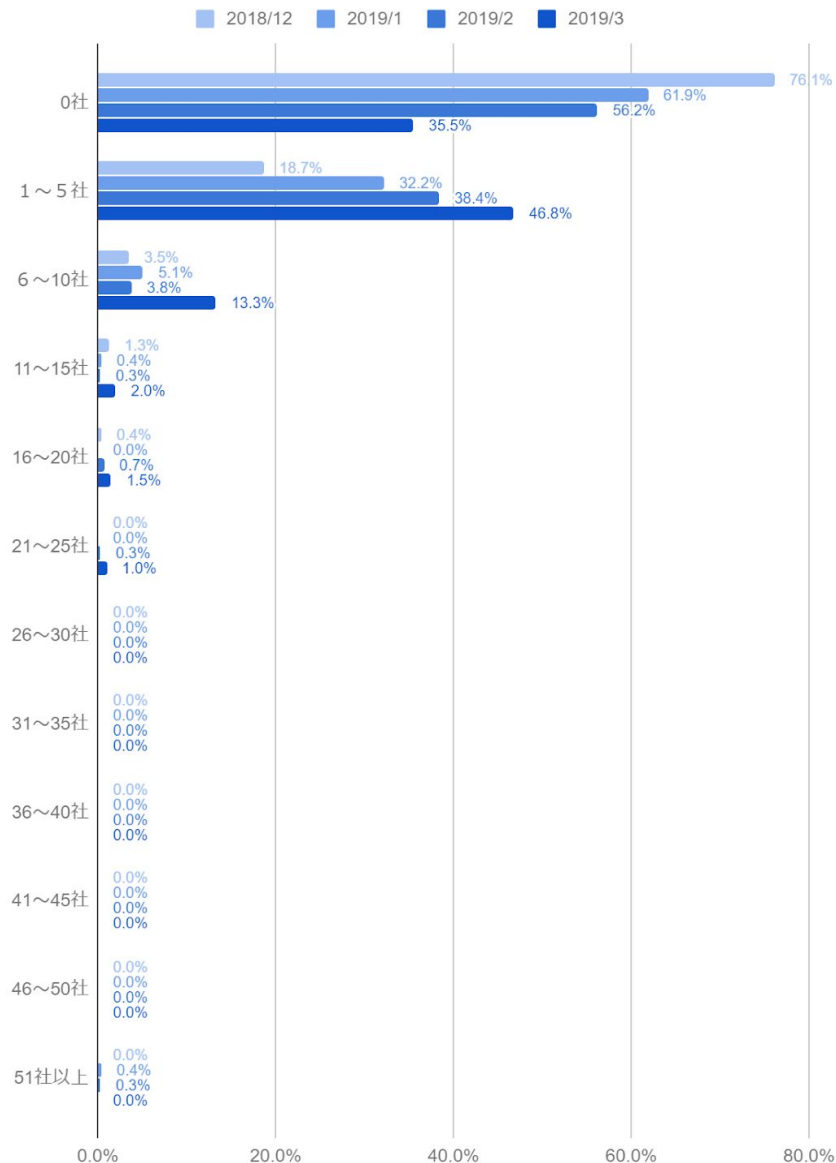
しかしエントリー数と比較して、エントリーシートの提出数はまだ「6～10社」を境に回答数が少なく、就職活動を進めていく上でのひとつの難関となっているようです。

エントリーシートの提出状況



エントリーシートの提出数

※インターンシップ選考のための書類提出は含まない、これまでに提出した企業の累計



○本選考への参加・内定取得状況

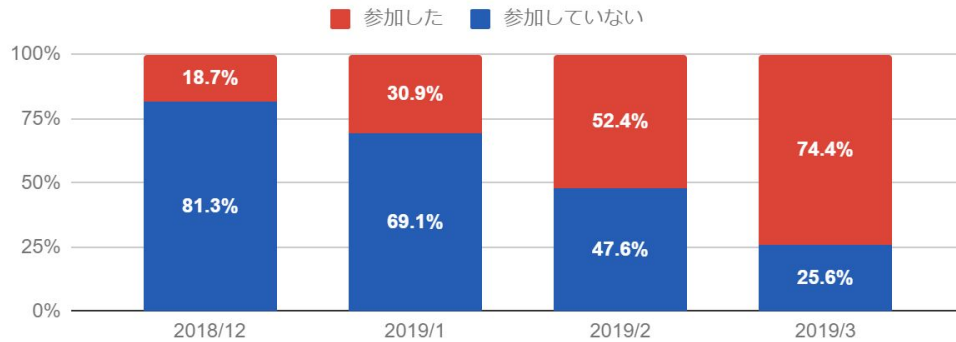
本選考の参加状況は、3月時点で回答者全体の約7割が選考に参加したという結果に。2月時点の52.4%より、22ポイント増加の74.4%と大幅な増加となりました。

また参加社数にも変化が見られました。参加状況にも現れていますが、7割の学生が選考へ参加しているという事で「1～5社」が前回調査時の49.7%より11.9ポイントの増加となりました。

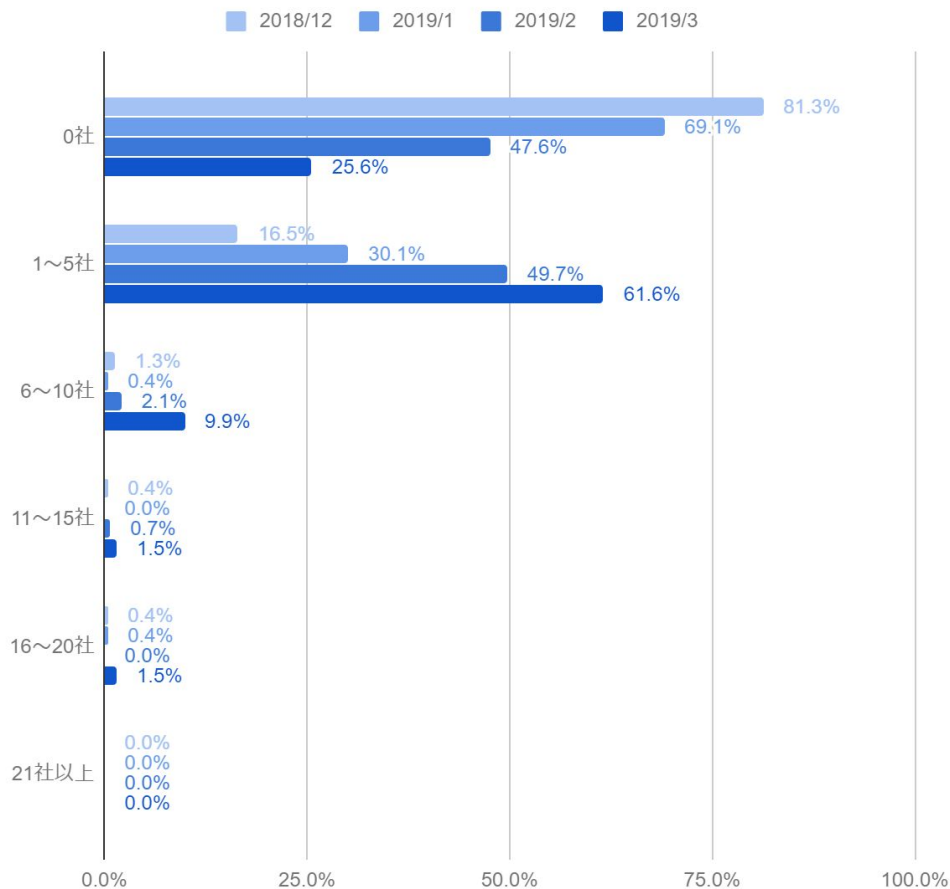
採用面接が解禁される前ですが、既に過半数以上の体育会学生の動きが活発になっていることが分かります。今後も参加社数は増加傾向に向かうと推測されます。

本選考参加状況

※インターンシップ選考を含まない、これまでに参加した企業の累計



本選考参加状況＜参加社数＞



内定取得状況については、2月時点（3.8%）より7.5ポイント増加の11.3%となりました。また今回の結果より、内定率の状況は大学生全体の内定率(13.9%)(※)と大きな差は見られないことが分かりました。

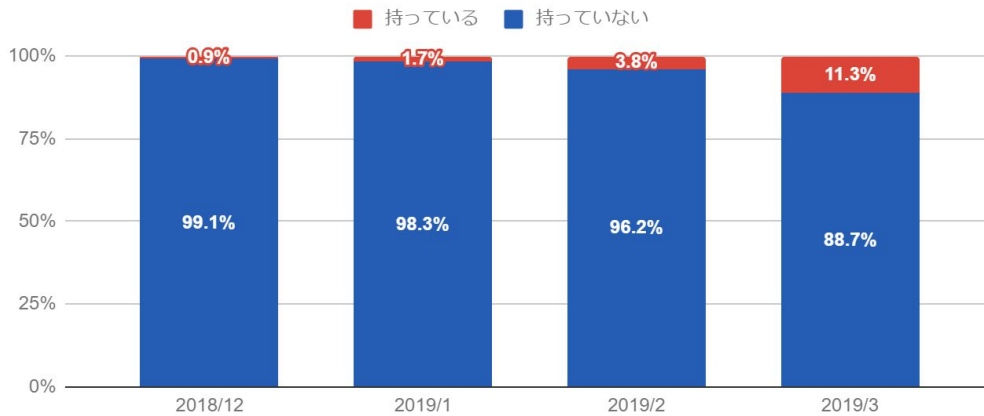
今回の調査のうち、内定(内々定)を持っている学生のうち約半数(57.1%)が「2019年2月に内定(内々定)をもらった」という回答をしていることから、早期選考をしている企業は2月から多く内定を出し始めていることが考えられます。

就職活動を終えたい時期についても「納得できる企業から内定が出たら終わる(6月以前)」と回答している学生が54.7%と徐々に増加している事から、体育会学生がスケジュールを意識し就職活動をし始めたことが分かります。

(※) 『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果(2019年3月発行)』

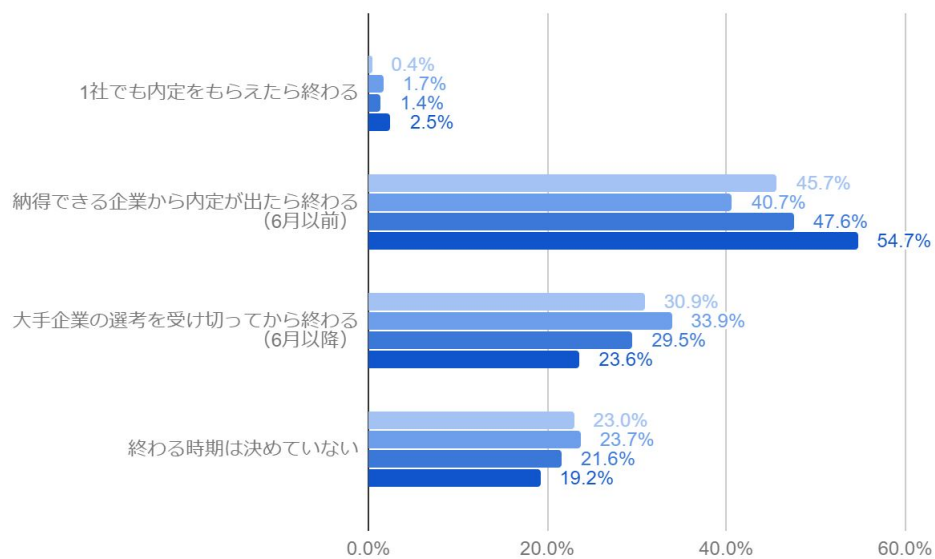
内定取得状況

※内々定を含む



就活を終了しようと考えている時期

■ 2018/12 ■ 2019/1 ■ 2019/2 ■ 2019/3



◆志望する職種・業界

○志望する職種・業界

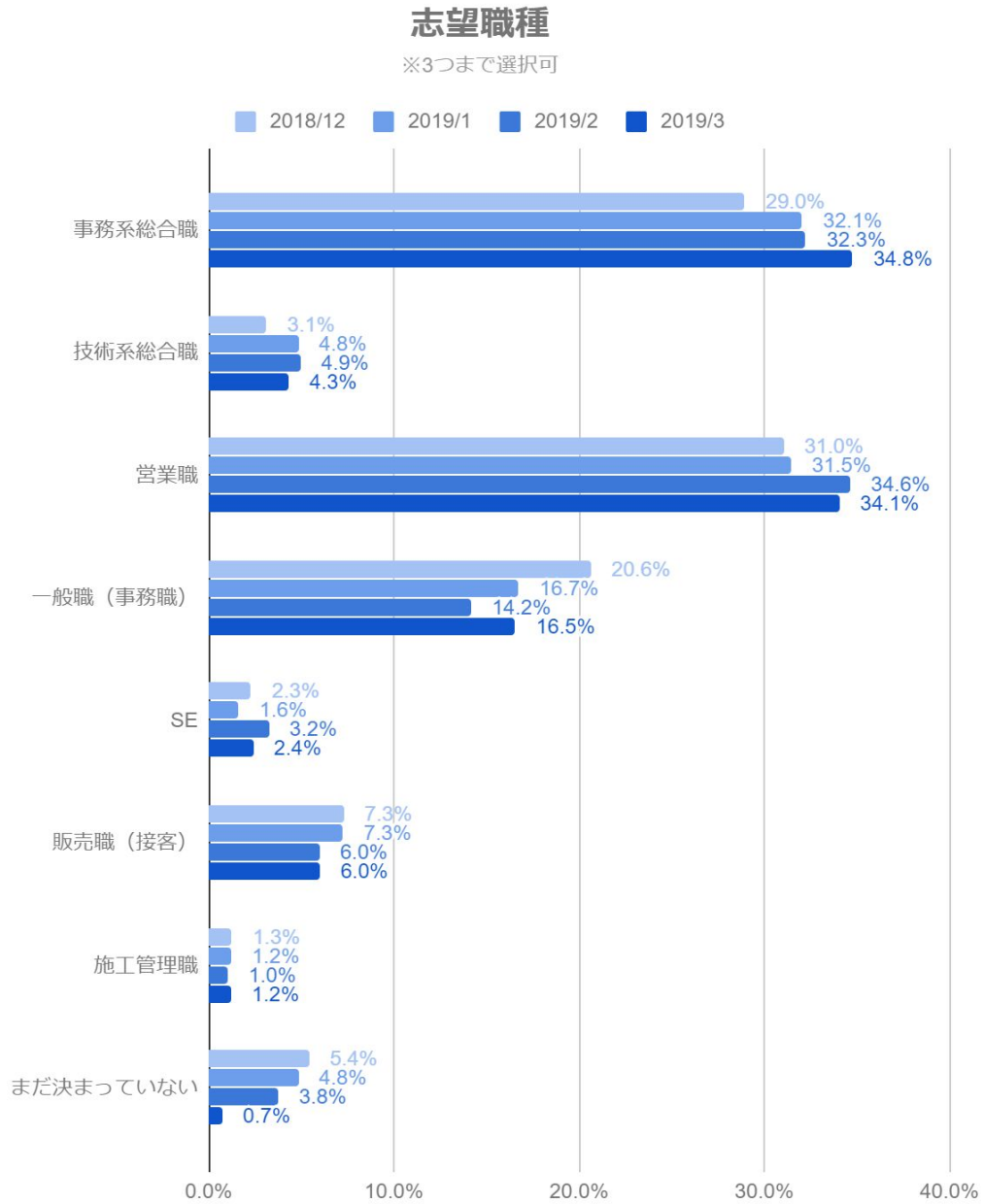
現時点での体育会学生の志望業界は上位6業界に大きな変化は見られません。しかし7番目以降の業界についてはそれぞれ変動している様子が伺えます。これは第1志望の業界は変えないものの、第2志望以降の業界を決める時に、様々な要因が関係しているからだと考えられます。

要因のひとつとして、TV・広告業界は2月まで減少傾向にありましたが、3月に再び順位が上がりました。この要因として、TV業界の選考が例年早い為アンケート集計時にはすでにピークを過ぎてしまっていた事、3月からは広告業界を志望する学生が増したためと考えられます。IT業界はイメージから体育会学生が苦手意識を持ちやすい業界ですが、常に上位20業界に入り、大きな変動がない事から、広い視野を持って就活を行っている事が伺えます。なお公務員を志望する学生も一定数おり、実際の声としても「地元に戻りたい」「地元で貢献したい」という声を聞きます。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
1	食品・飲料 10.6%	食品・飲料 11.5%	食品・飲料 10.8%	食品・飲料 11.4%
2	総合商社 9.3%	総合商社 9.9%	総合商社 8.9%	総合商社 9.2%
3	不動産・建設 8.5%	スポーツ 9.9%	不動産・建設 8.8%	不動産・建設 9.0%
4	金融 7.8%	不動産・建設 7.0%	スポーツ 8.3%	金融 8.6%
5	スポーツ 7.0%	鉄道・航空 6.7%	金融 7.8%	鉄道・航空 5.9%
6	鉄道・航空 6.8%	金融 6.2%	鉄道・航空 5.7%	スポーツ 5.3%
7	TV・広告 6.0%	IT 4.0%	コンサル 4.2%	インフラ 4.5%
8	コンサル 3.3%	旅行 4.0%	公務員 3.5%	自動車 3.7%
9	人材 3.3%	化粧品・日用品 3.8%	IT 3.4%	IT 3.5%
10	公務員 3.2%	TV・広告 3.4%	インフラ 3.4%	人材 3.5%
11	旅行 2.8%	公務員 3.0%	自動車 2.9%	TV・広告 3.1%
12	IT 2.3%	コンサル 2.9%	旅行 2.7%	公務員 3.1%
13	物流・運輸 2.2%	インフラ 2.7%	ホテル 2.7%	コンサル 2.7%
14	新聞・出版 2.2%	人材 2.2%	人材 2.7%	電機・機械 2.7%
15	自動車 2.0%	教育 1.9%	TV・広告 2.6%	化粧品・日用品 2.3%
16	インフラ 2.0%	自動車 1.8%	化粧品・日用品 1.9%	その他 2.2%
17	化粧品・日用品 2.0%	化学 1.8%	物流・運輸 1.6%	物流・運輸 2.0%
18	化学 1.8%	ホテル 1.8%	ブライダル 1.6%	旅行 1.8%
19	アミューズメント 1.8%	教職 1.8%	教育 1.6%	ホテル 1.8%
20	ホテル 1.7%	物流・運輸 1.6%	通信 1.4%	音楽・映画 1.4%

志望職種は「事務系総合職」が2月時点（32.3%）より2.5ポイント増加で3月の結果の中で「営業職」に0.7ポイント差をつけてトップになりました。また「一般職（事務職）」を志望する学生が前回調査時より2.3ポイントと微増（14.2%→16.5%）。

「まだ決まっていない」と回答する学生が2月時点（3.8%）より3.1ポイントの減少と大幅に減ったことから、体育会学生が志望職種を決め始めたことが分かります。



○企業選びの軸

企業選びの軸は「安定性」が先月に引き続きトップを維持していますが、1.5ポイント減少しています（19.3%→17.8%）。また2番目も変わらず「社会的交流性」ですが、こちらは前回調査時の13.4%から2.5ポイント増加の15.9%に。

順位に大きな変化が起きたのは前回調査時に6番目だった「愛他性」が、前回調査の8.4%から1.6ポイント増加で3番目に浮上。また同じく8番目だった「社会貢献」が前回6.8%から2ポイント増加で4番目に浮上しました。

今回の回答で増加した「社会的交流性」「愛他性」「社会貢献」から、安定的な志向は持ちつつも仕事のやりがいという部分で志向に変化が現れたのではないかと推測されます。

